

米原市議会主催

市民との意見交換会

第5回報告書〈ダイジェスト版〉

米原市議会主催の第5回市民との意見交換会(議会報告会)を、平成28年5月14日(土)に、ルッチプラザと米原公民館を会場に開催しました。

詳細の報告書の作成に先立ち、意見交換会で市民のみなさんからいただいた、質問・要望・提案とその回答について、ダイジェスト版としてお届けします。

ルッチプラザ会場



【担当議員】

班 長：山本克巳議員
副 班 長：松宮信幸議員
出席班員：中川雅史議員
太田幸代議員
中川松雄議員
今中力松議員
竹中健一議員
北村喜代隆議員
北村喜代信議員

【参加者】20名

米原公民館会場

【担当議員】

班 長：清水隆徳議員
副 班 長：音居友三議員
出席班員：澤井明美議員
鏑田 明議員
堀江一三議員
吉田周一郎議員
滝本善之議員

【参加者】25名



議員との意見交換会 参加団体 募集しています!

米原市議会では、春と秋の2回、今回のように市内数か所の会場において、議会報告会と市民との意見交換会を2部形式で行ってきました。

より多くの市民のみなさんと、じっくり意見交換させていただきたいという思いから、次回、秋の意見交換会は従来の報告会形式ではなく、市内で活動いただいている各種団体のみなさんを対象に、意見交換会を計画いたします。

募集期間

平成28年8月から随時受付

開催期間

平成28年10月～平成29年2月ごろまで
(定例会中を除く)

募集团体

市内で活動されている各種団体
(団体単位でお申し込みください。)

内 容

お申込み団体ごとに2時間を目安に、意見交換会を開催いたします。

申込方法

議会事務局までお申し込みください。お申し込み時に、**希望日時**、**意見交換のテーマ**、**参加人数**などをお知らせください。

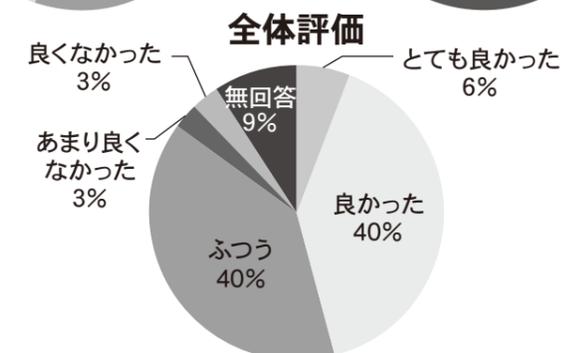
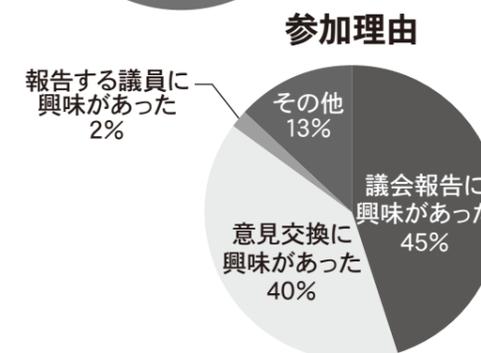
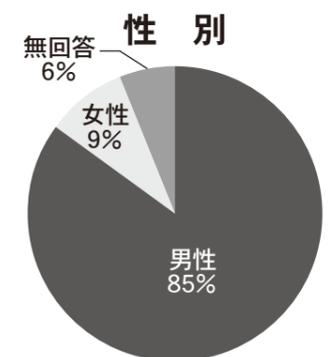
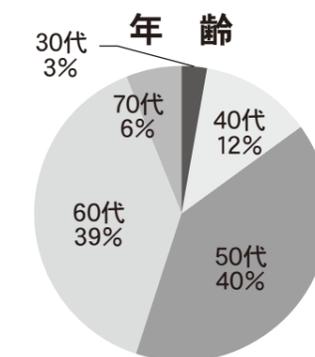
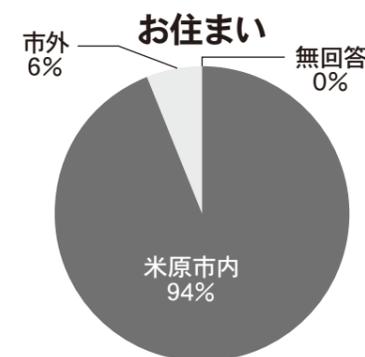
問合せ・申込み

米原市役所 議会事務局(山東庁舎3階)

電話 0749-55-8111 E-mail gikai@city.maibara.lg.jp

参加者情報 ～アンケート結果から～

参加者:45人
アンケート回答数:33人
回収率:73.3%



議会報告

平成28年度予算について

今回の議会報告会は、平成28年第1回定例会で可決された、平成28年度予算について、重点取組事項を中心に説明し、各常任委員会ごとに、特に委員会で議論のあった事業をピックアップして報告しました。参加者と議員の意見交換の内容を一部ご紹介します。

委員会での予算審議について

委員会審議は机上のみで行われて、現地審査は実施されていないのではないかと。また、予算特別委員会の仕組みはこれでいいのか。そのせいで常任委員会がいい加減になっていないか。議員の半数にあたる予算委員会の委員が、執行部の説明に対してチェックしているだけで、残りの議員は常任委員会の1日しか審査していない。これで予算案が審議できているのか。

災害支援について

熊本地震の支援は。また市でボランティアを集める予定はないのか。

予算は予算特別委員会で3日間にわたり慎重に審査しています。常任委員会では現地審査も行い、産業建設常任委員会は市道認定の現場を現地踏査しています。

その他

米原市政への「意見」ご要望

「平成28年度予算」「防災とまちづくり」以外に、米原市政への「意見」ご要望、「提案をいただきました。」今回は市統合庁舎と米原駅東口の開発についてのご意見を多くいただきました。

市役所統合庁舎と、米原駅東口まちづくりについて

災害時の交通渋滞や、駐車場の面積が庁舎の3倍必要になってくるなどの問題がある。建設費も、どのような計画で試算されているのか、わからないことが多い。米原市の将来を真剣に考えるのであれば、周囲の狭い米原駅では困難ではないか。

渋滞の問題については、ここは国の渋滞指定区域には指定されていません。また、西町の区画整理事業の面積とわずかしか面積は変わりませんので物が建つてくるとまちの形成ができ、まち全体が広く見えてきます。

意見交換

テーマ 防災とまちづくり

市が進めている地域防災力の強化に向けた取組として、「自主防災組織の活動支援」、「消防団の組織強化・整備充実」、「総合防災訓練の実施」、「防災リーダーの育成・防災啓発」があります。また新たに市では「防災情報伝達システム」の構築を進めています。意見交換では、安心安全な暮らしのために必要な意見や提案をいただきました。

防災情報伝達システムについて

防災無線がスマートフォンに変わると、スマートフォンやタブレットを持っていない人はどうなるのか。

これまでの防災無線は一方通行の情報で、家にいないと情報が聞けなかったが、これからはスマートフォンやタブレットがあれば、どこにいても情報が受け取れます。問題はスマートフォンやタブレットを持っていない市民のみさんへの対応です。この制度については今後、市が自治会に出向き説明もしますし、通信料の負担はいただきますが、5年間タブレットの無償貸出しも計画されています。



防災情報伝達システムについて、広報や伊吹山テレビで説明もあったが、テレビでやっていても見えない人も多いので、もっとしっかりと周知してほしい。テレビでもっと広報してほしい。

一定の時間に放送している伊吹山テレビなので、見えない人が多いのも事実。今後も広報や伊吹山テレビで積極的に広報し、もっと見てもらえる伊吹山テレビになるよう執行部とも議論していきます。

市の観光施策について

石田三成ゆかりの地再生プロジェクト事業について、予算1800万円の経済効果はどれくらいを見込んでいるのか。

「ミート三成展」で彦根、長浜と3市で取り組んでいる事業と関連し、具体的に各方面にどれだけの経済効果が波及するのかがつかみづらいですが、多くの来客を見込んで米原市をPRしていくことが大切であり、予算額以上の効果は十分あると考えています。

障がい者施策について

4月から障がい者差別解消法が施行されている。この法律の施行に伴って、米原市はどのような動きをされたのか。

また、市役所で手話の対応ができる職員が山東庁舎にしかない。毎年手話講座を開いているので、これを活用して人材を育成していただきたい。



また今年度は、市役所職員研修に「聴覚障がい者への接遇」として実施を予定しております。

目や耳に障がいをお持ちの方への災害時の対応を考えてほしい。個人情報問題もあるが、命が一番大事。だれがどこにいるかわからない。

地域では民生委員だけが情報を持っている。どこまで情報を共有し、災害の際にはどう対応するかを考えていきます。

今年初めて自治会役員になった。役員は単年度で変わるため、継続的な活動ができない。防災についても何をしてもいいかわからない。

「地域担当職員制度」がありますので、その制度を活用いただいたり、すでに地域で連携して災害時の対応など議論されている自治会もあると思いますので、お近くの自治振興課に相談してみてください。

地域で防災訓練を毎年しているが、緊迫感が全くない。

地域の自主防災組織に差があるように感じます。課題解決に向け努力します。

議会活動について

これまで意見交換会に数回出席し質問してきたが、納得できる回答がない。議員定数の削減や報酬のカットで財政の健全化に取り組むことが、市民に喜ばれる市政ではないか。

市議会では平成25年に議会基本条例を策定し、議会改革に取り組んできました。その中で議会報告会を開催し、定数削減等のテーマも取り上げ、ご意見をいただきました。

今回の議会報告会・市民との意見交換会においても、参加者からたくさんのご意見、ご提案、ご要望をお聞きしました。また、市民の皆さんと直接対話することで、私たち議員にとって大変参考になります。今回は一部要約でのご紹介でしたが、今後「市民との意見交換会報告書」において、ご報告させていただきます。